

## 子どもの心の健康づくり事業について

## 1 令和4年度までの事業について

年2回開催の「愛西市子どもの心の健康づくり事業推進実行委員会」にて協議。

内容	これまで	今後の方針・課題
保育園講演会 (年長児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学近藤真庸名誉教授による、保育園年長児とその保護者を対象とした排便習慣と生活リズムを整えることを目的とした講演会の実施。</li> <li>・平成30年度まで市内公立保育園4園にて実施。令和元年度は、市内保育園児とその保護者を対象に、市内2か所で開催。令和3年度は、保護者の参加が困難なことから、保育者への伝達講習に変更。</li> </ul>	<p>保育者に講演動画の配信を実施。保育者から保護者への伝達講習とする。</p>
小学校4年生 二分の一成人式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生担任を対象とし、5月に近藤名誉教授を招いての作業部会の実施。</li> <li>・各校独自の方法で二分の一成人式の実施。</li> <li>・令和4年度より「十歳の集い」に名称変更。</li> </ul>	<p>・各校独自の方法で「十歳の集い」の実施。</p>
中学校2年生 いのちの授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センター主体による「サマーセミナー」(平成28年度まで)の実施。平成29年度より中学校主体による、保健センターと共同した「いのちの授業」実施。</li> </ul>	<p>・中学校主体による、保健センターと共同した「いのちの授業」実施。</p>

## 2 子どもの心の健康づくり事業推進実行委員会廃止までの経緯

愛西市が合併する前から一部の町村で実施されているこの子どもの心の健康づくり事業も合併後は市全体を対象を広げ、以後17年継続してきた。現在、事業内容や実施方法も安定し、実行委員会の目的でもある「健康教育プログラムの作成」についても、幾度の見直しを経て現在の方法に落ち着いた。

令和4年7月に開催された実行委員会において、今後はこの事業を健康推進課の保健事業として位置づけたうえで実施すること、また地域保健対策協議会に「子どもの心の健康づくり事業作業部会(仮称)」を設立し、この部会で事業を協議し、地域保健対策協議会において評価・審議を行うことを提案した結果、可決された。

## 3 令和5年度愛西市子どもの心の健康づくり事業(案)について

## (1) 「排便と睡眠を軸にした生活時間割づくり」の動画配信

【対象】 保育関係者、幼児の保護者

【配信方法】 保育関係者には、動画DVDの配付、配信URLを送付  
 幼児の保護者には、保育園・幼稚園等を通じて動画配信案内チラシを配布

(2) 小学4年生「十歳の集い」の実施

【対 象】 市内の12小学校（愛西市全小学校）の4年生

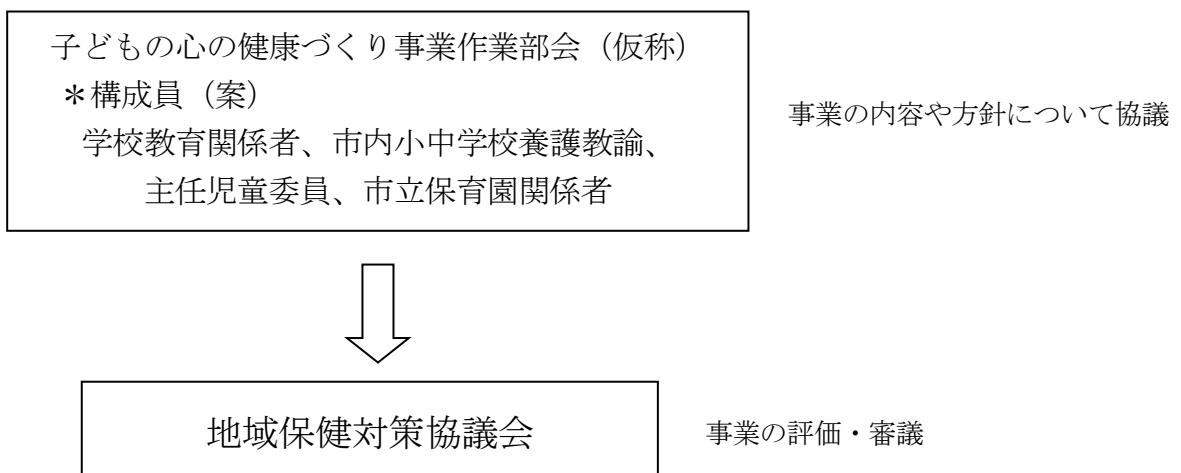
【目 的】 思春期に向かう10歳という時期に、これまでの自分の成長を振り返り、自身を支えてくれた人たちの存在に気づくことで自己肯定感を高める。

(3) 中学2年生「いのちの授業」の実施

【対 象】 市内の6中学校（愛西市全中学校）の2年生

【目 的】 赤ちゃんと保護者とのふれあいを通して、命の尊さについて学ぶ機会とし、継続した関係づくりを実現させることで、中学生自身が子どもの成長を学び、将来の親としての自分をイメージできるようになる。また、協力者である親自身も中学生との継続的なかわりや、地域の関係者との出会いを通して孤立を防止し、育児不安の軽減を図る機会とする。

4 令和5年度以降の事業検討・評価方法について



5 検討事項

(1) 子どもの心の健康づくり事業作業部会の構成員について、上記（案）以外に参加していただくと良いと思われる人（職種）について

(2) 令和5年度以降の事業について、令和5年度愛西市子どもの心の健康づくり事業（案）以外に実施していくと良い取り組みについて